

二語一専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 1 学生生活をサポート 学生相談室、障がい学生支援室、キャンパス・ハラスメント対策室……
- 2 学部ゼミ合同 北海道でアップサイクル商品提案……
- 3 学校法人専修大学 令和6年度事業計画・予算……
- 4 専大初のジョッキー誕生 坂口智康さん(平25経済)……
- 5 専大に国内留学/サッカー部発足……
- 6
- 7

大規模災害時の安否確認システム ANPIC 初期登録のお願い

専修大学では、今年4月から災害時の安否確認手段として安否確認システム『ANPIC(アンピック)』を導入しました。これまで『Yahoo! 安否確認サービス』に登録していた方も新たに登録をお願いします。

- 初期登録すると ↓
- 複数のアドレスで安否確認メール受信可
- LINE or アプリで安否確認・報告が可能

■ 初期登録はこちらから ↓



問い合わせ先 神田庶務課
ksyomu@acc.senshu-u.ac.jp

海外志向の就活を支援

グローバルキャリア・サポートプログラム

外資系企業や海外展開する日本企業への就職を目指す学生を対象にした本学独自の就職支援「グローバルキャリア・サポートプログラム」を生田キャンパスで開講している。昨年度の4倍にあたる約80人が受講。コロナ禍の収束に伴い、就職活動に臨む学生たちの海外志向も高まっている。

このプログラムは、あくを目的に2022年10月開講予定。約2カ月の短期集中プログラムで、就職支援会社のコンサルタントやグローバル企業の採用担当者らが講師を務める。卒業までに一定レベルの英語力を獲得することが受講条件の一つ。講座では「グローバル企業の採用動向の理解」「表現技術の向上」などを学び、自己PRや模擬面接などを通じて、選考突破に不可欠な実践力を身につける。



企業へのアプローチの仕方や自己PRの方法など、具体的な情報が提供された=5月7日

中日新聞社と協定

協定は、本学大学院文学部専攻(修士課程)が2025年設置予定(構想中)であること、中日新聞社が発行する東京新聞が、教育・研究、文化の向上に本学での講義「広報協力」企画での協力などの事業に取り組み。

松木理事長(前列中央左)、菅沼代表(同右)ら出席者一同



菅沼代表は「専修大学と東京新聞は建学・創刊の時期が近く、長い時間をともに過ごしてきた。今後、文化、アカデミック、地域振興などでさまざまな協力を期待したい」と語った。文学部ジャーナリズム学科では、東京新聞による協力講座「戦争ジャーナリズム論」、系列紙の東京中日スポーツによる「スポーツジャーナリズム論」を開講している。

新入留学生オリエンテーション・歓迎会

教職員・日本人学生と交流



大学生活について話したグループ別懇談会

本学での充実した留学生生活の第一歩として「新入留学生オリエンテーション・歓迎会」が4月13日、神田キャンパスで行われた。生田・神田で学ぶ新入留学生37人が、教職員や先輩留学生、日本人学生らと親睦を深めた。

奥村経世国際交流センター長が「日本の大学生活を楽しんでほしい」とあいさつした後、学部ごとに分かれてグループ別懇談会が行われた。コース制やサークル活動といった学修や学生生活に関する幅広いテーマについて先輩留学生と意見を交わした。

併せて校友会青年会主催の「留学生を囲む会」が開かれた。桃野直樹校友会会長、小海祐資育友会長も出席し、新入留学生を歓迎。さまざまなイベントがあり、参加者たちは食事を楽しみながらひと時を過ごした。



「留学生を囲む会」にて

パリ五輪ボクシング男子57kg級出場 原田さんを激励

OB会主催壮行会

7月26日に開幕するパリ五輪のボクシング男子57kg級に出場する原田周大さん(法4)の壮行会が4月20日、生田キャンパスで開かれた。ボクシング部OB会が主催し、同部の卒業生や現役学生に加え、桃野直樹校友会会長ら約70人が出席。大舞台上に臨む原田さんを激励した。

力強く意気込みを語った原田さん



本学ボクシング部からの五輪出場は4人目。原田さんは昨年のアジア競技大会で準優勝し、五輪の出場権を得た。「(アジア大会の)銀メダル獲得おめでとうと言われるが、自分としては悔しいと思っている。オリンピックでリベンジし、金メダルを持ち帰りたい」と意気込みを語った。



原田さん(中央)を激励する桃野校友会会長(右から2人目)ら



グループワークでグローバル企業を研究する学生たち
=5月7日

10月開講予定。約2カ月の短期集中プログラムで、就職支援会社のコンサルタントやグローバル企業の採用担当者らが講師を務める。卒業までに一定レベルの英語力を獲得することが受講条件の一つ。講座では「グローバル企業の採用動向の理解」「表現技術の向上」などを学び、自己PRや模擬面接などを通じて、選考突破に不可欠な実践力を身につける。

4月30日は、本学の卒業生で、現在はグローバル企業で活躍する佐野柚季さん(平26法)らを招き、仕事内容や就活体験談を聞いた。

専門商社勤務の佐野さんは、在学中にニュージーランド留学を経験。入社後は、電力インフラ部門で中東やアフリカ市場を開拓するなど、語学力をフル活用している。「元々英語は不得意だった。進められたほか、学歴と自己